

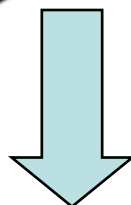
(4) 病棟における持参薬の確認・服薬計画の提案

持参薬の確認・服薬計画書の作成

《入院時》

- ・ 薬剤師が入院患者に面談、持参薬の確認と、入院中の服薬計画書を作成

<服薬指示書の下書き>



- ・ 医師は、薬剤師の服薬計画書をもとに、服薬指示を確定

<承認・修正により、簡便に指示完了>



持参薬確認から服薬指示までの分担手順書

1. 入院患者面談準備 **《薬剤師》** 前日
患者背景の把握：原病歴、入院目的、検査データ
当院処方歴の把握
2. 患者面談 **《薬剤師》** 当日、入院直後
処方歴、紹介状、お薬手帳にもとづき持参薬等を確認
直接現品を確認するとともに、患者面談により服薬に関する問題点を把握
3. 持参薬に関する服薬書作成 **《薬剤師》** 入院当日
服薬の問題点、相互作用、重複、手術・検査に影響する薬剤、疾患禁忌等への薬学的考察
持参薬確認表を用い、薬剤師が持参薬情報を医師に提供
あわせて問題解決のための処方提案
4. 入院中の薬物療法の指示 **《医師》** 入院当日
承認印の押印(必要に応じ修正承認)